



-  全国介護事業者連盟メールマガジン
-  vol. 158

※このメールは全国介護事業者連盟会員の方へ配信しております。

- ・全国介護事業者連盟ホームページ  
<https://kaiziren.or.jp/>
  - ・2024年9月18日「DXなんでも相談窓口」をホームページに設置し、介護・障害福祉業界のDX促進をスタートいたしました。  
<https://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2024/09/press20240918.pdf>
  - ・介護チャンネル 全国介護事業者連盟公式チャンネルに是非ご登録をお願いいたします。  
[https://www.youtube.com/channel/UCD50A6NnDt5Kbj1e3YJMb5Q?view\\_as=subscriber](https://www.youtube.com/channel/UCD50A6NnDt5Kbj1e3YJMb5Q?view_as=subscriber)
  - ・全国介護事業者連盟公式Facebookページ  
<https://www.facebook.com/kaiziren>
  - ・全国介護事業者連盟公式X（旧twitter）  
<https://twitter.com/kaiziren/status/1308658754259308546?s=21>
  - ・全国介護事業者連盟公式instagram  
<https://www.instagram.com/kaiziren/>
  - ・本内容に関するお問い合わせ、およびメールマガジン配信先の追加（法人幹部、各事業所の管理者や職員などのメールアドレス）を希望される場合こちらまでお願いします。

- ・全国介護事業者連盟からのお知らせ
  - ・厚生労働省ニュース/内閣府ニュース

□ ■ 全国介護事業者連盟からのお知らせ

副理事長挨拶

全国介護事業者連盟 副理事長を拝命している永井正史と申します。

今号のメルマガについては、私の方から介事連が万博にどのように関わったのか、ご紹介をさせていただきます。

我々、介事連役員は現在開催されている大阪・関西万博のメインテーマが「いのち輝く未来社会のデザイン」と決まった時に、「どこかの介護事業者・福祉関係団体が関わることになるだろう」と考えました。そこで、「どこか」ではなく、「我々が」となるべく動くことを決めました。

そこから、万博への関わり方を研究し、万博のメインパビリオンとなるシグネチャーパビリオンへの協賛を決定いたしました。どのシグネチャーパビリオン・プロデューサーに関わるべきかを考えた際に、私の地元の大坂大学基礎工学研究科教授である石黒浩先生が最適と考えました。その理由は、石黒浩先生がアンドロイドの世界的権威であり、アバター技術についても世界最先端の研究をされている方であったからです。

今後、日本社会は現役世代が減少し、介護や障害福祉の現場を支える担い手が大きく不足することは明確であり、人に替わる労働力を確保すること、医療技術が更に進歩する中で、介護や障害の現場における価値観や対象者との関わり方も変化することが予想されます。こうした未来を提案し、展示することには大きな意義があり、シグネチャーパビリオンいのちの未来(石黒館)に協賛することといたしました。

※万博への協賛は、一般社団法人全国介護事業者連盟万博コンソーシアム 2025 を通じて行っています。

ぜひ、皆さまには万博会場に足を運び、石黒館を訪れていただきたく存じます。50年後の未来、科学技術の進歩によって、人の死生観が変化し、終末をデザインする時代が来ると考えています。それがどのように生活場面に影響を与えるか、一つの可能性を展示しています。ご来館いただいた方には、きっと何らかの共感やいのちの在り方を考えるきっかけを掴んでいただけます。

7月19日（土）14:00～15:30には、石黒館のプロダクトなどを紹介するイベントも開催される予定となっています。詳細は、後日改めてお知らせいたします。

最後に、シグネチャーパビリオンいのちの未来(石黒館)が完成する過程や、協賛各社と石黒プロデューサーが共創しながら考えたプロダクトの詳細につきましては、『いのちの未来 2075 人間はロボットになり、ロボットは人間になる』を是非お読みいただければ幸いです。どうぞよろしくお願ひいたします。

タイトル：『いのちの未来 2075 人間はロボットになり、ロボットは人間になる』

著者：石黒 浩

発行予定日：5月20日

発行：日経BP 日本経済新聞出版

永井 正史（ながい まさし）

社会福祉法人慶生会 理事長

一般社団法人全国介護事業者連盟 副理事長

一般社団法人全国介護事業者連盟 関西ブロック支部 ブロック長

一般社団法人全国介護事業者連盟万博コンソーシアム2025 理事長

---

◆全国介護事業者連盟 北陸三県合同企画セミナー『今後の介護保険改革の行方～制度の持続性を高めていくために～』を開催いたします（2025年5月13日）

<https://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2025/04/toyama20250513.pdf>

---

◆「障害福祉事業部会 滋賀県支部 設立総会および全国介護事業者連盟 滋賀県支部 年次総会」を開催いたします（2025年5月16日）

<https://kaiziren.or.jp/event/request/2025/shiga0516/>

---

◆「障害福祉事業部会 奈良県支部 設立総会および全国介護事業者連盟 奈良県支部 年次総会」を開催いたします（2025年5月17日）

<https://kaiziren.or.jp/event/request/2025/nara0517/>

---

◆「障害福祉事業部会 神奈川県支部 設立総会および全国介護事業者連盟 神奈川県支部 年次総会」を開催いたします（2025年5月25日）

<https://kaiziren.or.jp/event/request/2025/kanagawa0525/>

---

◆全国介護事業者連盟 北陸三県合同企画『介護・障害福祉事業所向け AI活用セミナー』を開催いたします（2025年6月18日）

<https://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2025/04/toyama20250618.pdf>

---

◆全国介護事業者連盟公式チャンネル 介護チャンネル

介事連の目指す未来へ

<https://www.youtube.com/watch?v=93q0zrswtzk&t=3s>

介護・障害・在宅診療 次期改定で基本報酬の引き上げを目指す！

<https://www.youtube.com/watch?v=zUynxDkhDdQ&t=4s>

---

### 【全国介護事業者連盟動向】

4月28日 厚生労働省『有料老人ホームにおける望ましいサービス提供のあり方に関する検討会（第2回）』に事務局長が出席（東京都）

4月28日 長崎県支部・障害福祉事業部会長崎県支部 幹事会の開催（オンライン）

4月28日 障害福祉事業部会千葉県支部 幹事会の開催（千葉県）

4月28日 障害福祉事業部会熊本県支部 幹事会の開催（熊本県 オンライン）

4月28日 北関東・甲信越ブロック支部・茨城県支部・栃木県支部・群馬県支部・新潟県支部・山梨県支部・長野県支部、障害福祉事業部会茨城県支部・栃木県支部・群馬県支部・新潟県支部・長野県支部 幹事会の開催（群馬県 オンライン）

5月 1日 障害福祉事業部会 兵庫県支部・鳥取県支部の設立

<https://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2025/05/press20250502.pdf>

5月 2日 障害福祉事業部会大分県支部 幹事会の開催（オンライン）

5月 9日 厚生労働省『2040年に向けたサービス提供体制等のあり方』検討会（第6回）に中川亮 副理事長が出席（東京都）

---

■ 厚生労働省ニュース/内閣府ニュース

---

「人口動態統計速報」令和7年2月分

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/1?p=k30Aj4NtB3EvvW4BY>

第4回 健康・医療・介護ワーキング・グループ

[https://www8.cao.go.jp/kisei-kaikaku/kisei/meeting/wg/2501\\_02medical/250428/medical04\\_agenda.html](https://www8.cao.go.jp/kisei-kaikaku/kisei/meeting/wg/2501_02medical/250428/medical04_agenda.html)

有料老人ホームにおける望ましいサービス提供のあり方に関する検討会（第2回）の資料について

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_57450.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_57450.html)

「2040年に向けたサービス提供体制等のあり方」検討会（第6回）資料

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_57678.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_57678.html)

■ 介護・障害福祉ニュース

---

訪問介護の要件を緩和 厚労省通知 地方の小規模な事業所を支援 今月から適用

<https://www.joint-kaigo.com/articles/37644/>

老人ホーム紹介で高齢者に値付け 「不適切だと気づかなかった」 国の検討会で課題浮き彫り

<https://www.joint-kaigo.com/articles/37570/>

認知症計画づくり後押し 厚労省 支援策を自治体に通知 補助・手引き・相談窓口など周知

<https://www.joint-kaigo.com/articles/37605/>

介護人材確保の補助金、使途変更は実績報告で柔軟対応 厚労省 計画書の再提出は不要

<https://www.joint-kaigo.com/articles/37562/>

規制改革会議、介護の人員配置基準など「抜本的な見直しを」対応加速を要請 都市部の人材難も視野

<https://www.joint-kaigo.com/articles/37528/>

■ 賛助会員広告【株式会社SANN】

---

《共同生活援助に特化した業務支援システム「ケア・オール」より新サービス！》

「ケア・オール」は、日々の支援記録から国保連請求・都加算請求・実費請求まで一元化できる業務支援システムです。

#### 【現機能一覧】

- ・支援記録
- ・国保連・都加算請求、実費請求
- ・個別支援計画書
- ・業務日誌
- ・重度支援/強度行動障害支援計画書兼手順書
- ・シフト自動生成機能（人員配置基準、看護職員配置基準の判定可） 等々

#### 【サービス拡大】

- ・5～6月：日中サービス支援型・外部サービス利用型

- ・7月：就労継続支援B型

▼デモ操作や価格確認をご希望の方はこちら

<https://booking.receptionist.jp/41c7b7ff-2e1e-47d2-b337-5c0ad1cfca4e/60min>

▼ケア・オールサービスサイト

<https://care-all.jp/>

□ ■  
■ 編集後記

---

大阪で導入開始「アバター介護士」は 介護業界の働き方に一石を投じるか？

大阪の社会福祉法人で「アバター介護士」というユニークな取組みがスタートしました。

特養などの現場で、モニターに映し出されたアバターがレクリエーション進行を担当します。コミュニケーションロボットとは違い、本物の人間がアバターを介して会話するので、利用者の状況や反応に合わせた柔軟な対応が可能なのが特徴です。

また、いわゆる「中の人」はパソコン1台あればよく、現場にいなくてもいいので、育児や介護、療養中など出勤が困難な人でも担当できます。これまでならば離職や休職せざるを得なかつた人が、勤務形態を変えながら就労できることは介護現場の人手不足解消に役立つことが期待されます。

介護業界のDX化は、他の業界に比べてまだまだといった点は否めません。また、いきなりロボットに業務を置き換えることが難しいという現実もあります。

こうした中で、人とロボットの中間的形態としてアバターを活用する事例が増えていくかもしれません。

---

【配信元】一般社団法人全国介護事業者連盟 <http://kaiziren.or.jp/>

※2025年2月1日より、下記住所に移転いたしました

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-3-1 麹町富士ビル5階

TEL: 03-5215-5063 FAX: 03-5215-5064

---

掲載内容の無断転載・再配布は固く禁じます。配信不要の方はこちらにご連絡ください

[info@kaiziren.or.jp](mailto:info@kaiziren.or.jp)